

## 1 4 (令和元年度参考調査)寒締め栽培におけるハウレンソウの品種特性調査

### 調査の目的

市内の寒締めハウレンソウ栽培では「冬霧7」や「寒味」が用いられており、品種の切替検討が必要な課題は生じていません。しかし、新品種の販売などが行われていることから、市内での寒締め栽培への適応性を調査し、今後の導入可能性を検討しました。

### 関係先

市内の寒締めハウレンソウ生産者

### 供試品種

①冬霧7(標準品種), ②W052, ③じっくり朝霧, ④寒味, ⑤寒味・極(キミ)  
⑥雪美菜02(販売元:①②③…渡辺採種場, ④⑤…トキタ種苗, ⑥…雪印種苗)

### 耕種概要

- ・作型:無加温ハウス栽培(内張カーテンあり)
- ・播種:R1.9.13(406穴育苗用紙筒,1穴1粒播種)
- ・定植:R1.9.27(銀ネズ有孔マルチ使用)
- ・栽植密度:条間15cm×株間15cm,4,444株/a

### 調査方法

#### (1) 調査項目

- ア 発芽調査:発芽日数,健全発芽率
- イ 苗質調査:定植時の葉数(子葉を除く。),最大本葉長
- ウ 収穫調査:一株重,収量,最大葉長,葉数,SPAD(葉色),葉柄部Brix(糖度)

#### (2) 収穫調査時期

R1.11.20, R1.12.18, R2.1.16の3回実施。

### 主な結果(標準品種「冬霧7」との比較)

#### (1) 健全発芽率

- ・「冬霧7」が最も良く,発芽そろいも優れていました。「寒味・極」はほぼ同等でした。
- ・特に種子が大粒である品種(「W052」「雪美菜02」)で劣る傾向が見られました。












#### (2) 定植時苗質

- ・葉数に品種間差はありませんでしたが,最大本葉長は,「W052」のみが上回りました。

#### (3) 収穫調査結果

- ・収量性は,「W052」「寒味・極」「雪美菜02」の3品種が「冬霧7」を上回り,高いと評価されました。「寒味」と「じっくり朝霧」はほぼ同等でした。
- ・葉色は,「W052」「寒味・極」「雪美菜02」が「冬霧7」よりも濃緑でした。
- ・葉長は,「W052」「雪美菜02」が3cm以上長くなり,「寒味」はほぼ同等でした。
- ・葉数は,唯一「寒味・極」のみが上回りました。
- ・糖度は,「冬霧7」が最も高く,「じっくり朝霧」「寒味」はほぼ同等でした。また,葉色が濃緑と評価された3品種については,糖度が他の品種に比べて低い傾向が見られたことから,葉色と糖度には負の相関関係があると考えられました。

各品種の調査結果・収穫時の写真

品種	主な調査データ（複数回調査の通算）					R1. 12. 18 収穫時の写真	
冬霧7 (渡辺採種場)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	92%	2.1cm	22.7cm	68.8g	52.4g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.4枚	16.4枚	19.9枚	58.5	9.7%			
主な特徴	発芽・収量性・作業性・糖度など、いずれも高い水準で安定。当地での栽培適性が高い。						
W052 (渡辺採種場)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	77%	2.3cm	25.8cm	73.3g	57.5g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.7枚	14.8枚	18.5枚	65.2	7.7%			
主な特徴	草姿は「雪美菜02」に酷似している。発芽がやや劣るが生育旺盛で収量性は高い。糖度は低い。						
じつくり朝霧 (渡辺採種場)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	87%	1.7cm	22.4cm	68.4g	50.9g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.2枚	15.2枚	18.4枚	57.2	9.1%			
主な特徴	摘葉する3～4枚目の重量比率が高いため歩留まりが低下し収量性が劣る。当地での適性は低い。						
寒味 (トキタ種苗)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	87%	1.5cm	22.9cm	69.4g	51.8g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.6枚	16.1枚	19.7枚	57.0	9.2%			
主な特徴	発芽が劣る以外はほぼ「冬霧7」と同様の傾向。糖度も高く、当地での栽培適性は高い。						
寒味・極 (トキタ種苗)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	91%	2.0cm	20.2cm	74.0g	58.5g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.8枚	17.0枚	20.7枚	62.2	7.3%			
主な特徴	「冬霧7」に比べて葉色が濃く、収量性や作業性に優れる。糖度が低い点が難点。						
雪美菜02 (雪印種苗)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	82%	2.0cm	26.4cm	74.7g	56.7g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.8枚	15.3枚	19.1枚	65.0	7.1%			
主な特徴	発芽はやや劣るが生育旺盛で収量性は高い。糖度は低い。特に初期生育が旺盛で早期出荷に向く。						